

理科シラバス 高校3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 地学基礎演習	3 単位	第3 学年	教科書：地学基礎（啓林館）、マーク式基礎問題集 地学基礎 改訂版（河合出版） 問題集：大学入学共通テストなどの過去問題集
学習の到達目標	大学入学共通テストに向け、問題演習を積み、応用的な力を身につける。		
評価の観点	科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞		
	科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞		
	科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

C：「努力を要する」状況と判断されるもの

D：未提出，未実施

2. 学習内容及び評価方法

月	単 元	学習のねらい	実験実習・学習のポイント
一 学 期 中 間	第3部 第3章 地層の読み方 第4部 自然との共生 問題集を用いた総復習 第1章 固体地球とその変動	・第3部の第2章で学習した地球の歴史について、地層や堆積岩、化石に残された記録から知ることができることを理解する。 ・地層や堆積岩の形成過程を解説することで、その理由や、そこから具体的に何が読み取れるかについて理解する。 ・地学基礎全体のまとめとして、自然との共生を念頭に置き、1年間で学んできた地学基礎の学習内容を人間生活と関連付けて考える。 ・マークシート式問題集を使用し、総復習をする。	・歴史時代以前の地質時代は、主に地層内の情報を読み取り解明されてきた。その読み取り方を理解し、読み取りに必要な知識を得る意識を持って学習することがポイントになる。 ・自然との共生では、国際人として、環境問題や自然災害を自分事として学習することがポイントになる。 ・共テ対策として、マークシート式の解答に慣れる。

一学期末	問題集を用いた総復習 第2章 岩石と地殻変動 第3章 移り変わる地球	・マークシート式問題集を使用し、総復習をする。	・共テ対策として、マークシート式の解答に慣れる。
二学期中	問題集を用いた総復習 第3章 移り変わる地球 第4集 大気と海洋 第5章 宇宙の構成	・マークシート式問題集を使用し、総復習をする。	・共テ対策として、マークシート式の解答に慣れる。
二学期末	大学入学共通テストなどの過去問演習	・本番を意識した過去問を用いて、苦手分野を明らかにする。	・試験中の時間配分を意識する。 ・共テリサーチを意識し、自分の解答を過去問題の冊子に書き残し、正確な自己採点をおこなう。
評価の観点及び内容			評価方法（具体例）
科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞			実験・実習課題提出
科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞			実験・実習課題提出 授業内考査
科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞			授業内考査